



## 2024年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2023年8月14日  
株式会社カクヤスグループ  
(証券コード：7686)

# 目次

---

1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト
2. 2024年3月期 第1四半期決算概要
3. 売上区分別概要
4. 今後の取り組み
5. 2024年3月期 通期業績予想と配当予想の修正について

# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

## ・総括 : 過去最高の四半期売上を更新

新型コロナウイルス感染症の収束や、インバウンド需要の回復等により人流が増加し、飲食店等への販売が当初の予想を大きく上回る回復がみられた。

家庭向けも堅調。

# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

<b>市場環境</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 屋外でのマスク着用が「個人の判断」となり、5月から新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移ったこと、またインバウンド需要が高まり、街中では訪日客もにぎわいを見せており、飲食店向けの市場は、引き続き堅調な回復をみせている。</li></ul>
<b>業績</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 過去最高の四半期売上を更新</li><li>• 国内のインバウンド需要の回復等により人流が増加し、飲食店等への販売が当初の予想を大きく上回り推移したこと、また家庭向け販売も、テレビCMによる認知向上等もあり、通期連結業績予想を上方修正。</li><li>• 通期連結業績予想の修正を受けて、中間配当および期末配当予想については、未定からの増配へ修正。これにより、コロナ前水準の配当に戻る。</li></ul>
<b>トピックス</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 「お酒だけじゃないカクヤス」、テレビCM第2弾を放映開始。</li><li>• TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同表明。</li><li>• 持続可能な社会の実現に向け、樽詰商品の小容量化の取り組みを開始。</li></ul>

# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

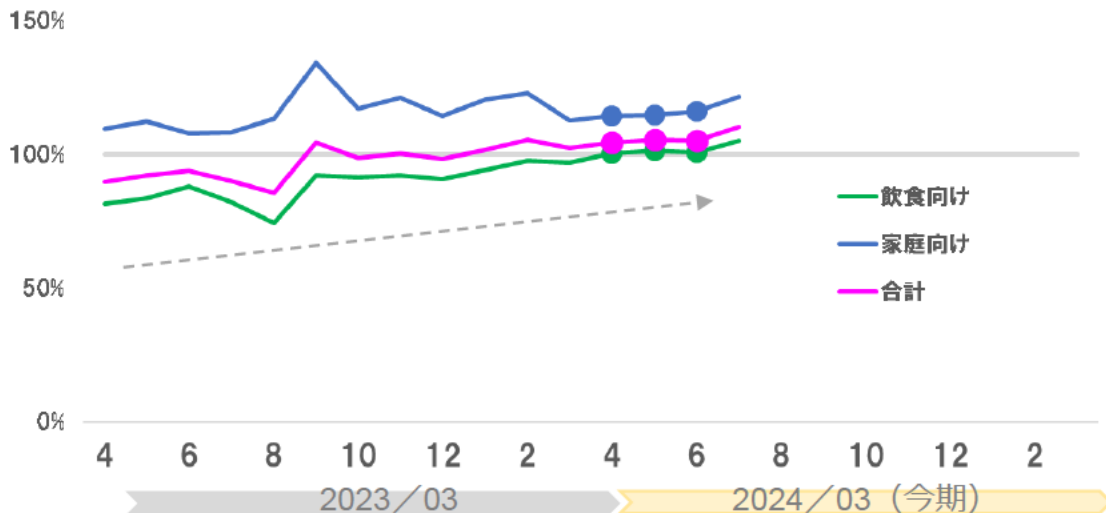
## 月次売上高推移

### ◆ カクヤス社※の売上速報値

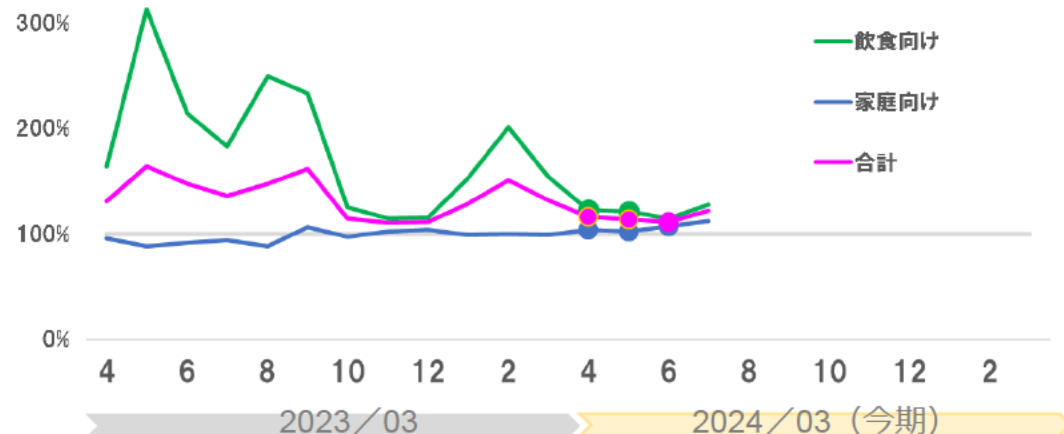
※「株式会社カクヤス」はカクヤスグループの中核会社となります。

- 第1四半期で、飲食店向けの売上はコロナ前の水準まで回復。  
家庭向け販売も引き続き好調さをキープしており、全体でコロナ前の売上を上回って推移。
- 7月も引き続き堅調に推移しております。

図表1 | コロナ前比



図表2 | 前年比



# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

## 通期連結業績予想修正

### ◆ 修正の理由

第1四半期において、新型コロナウイルス感染症が収束したことや、国内のインバウンド需要の回復等により人流が増加したこと等が酒類需要の増加に繋がり、飲食店等への販売が当初の予想より大きく上回り推移していること。また、家庭向け販売も、テレビCMによる認知向上等もあり、今後も同様の傾向が続くと予想し、通期連結業績予想を以下のとおり修正。

(単位：百万円)

科目名	(A) 前期実績 (2023/3月期)	(B) 業績予想 (2023/5/15)	(C) 業績予想 (2023/8/14)	増減率		業績予想(2023/8/14)	
				前期比 C/A	修正前比 C/B	上期	下期
売上高	114,960	125,230	<b>130,600</b>	+13.6%	+4.3%	63,300	67,300
営業利益	803	2,030	<b>3,000</b>	+273.4%	+47.8%	1,190	1,810
経常利益	800	1,990	<b>2,900</b>	+262.3%	+45.7%	1,180	1,720
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	1,150	<b>1,700</b>	+178.8%	+47.8%	690	1,010

# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

## テレビCM 第2弾

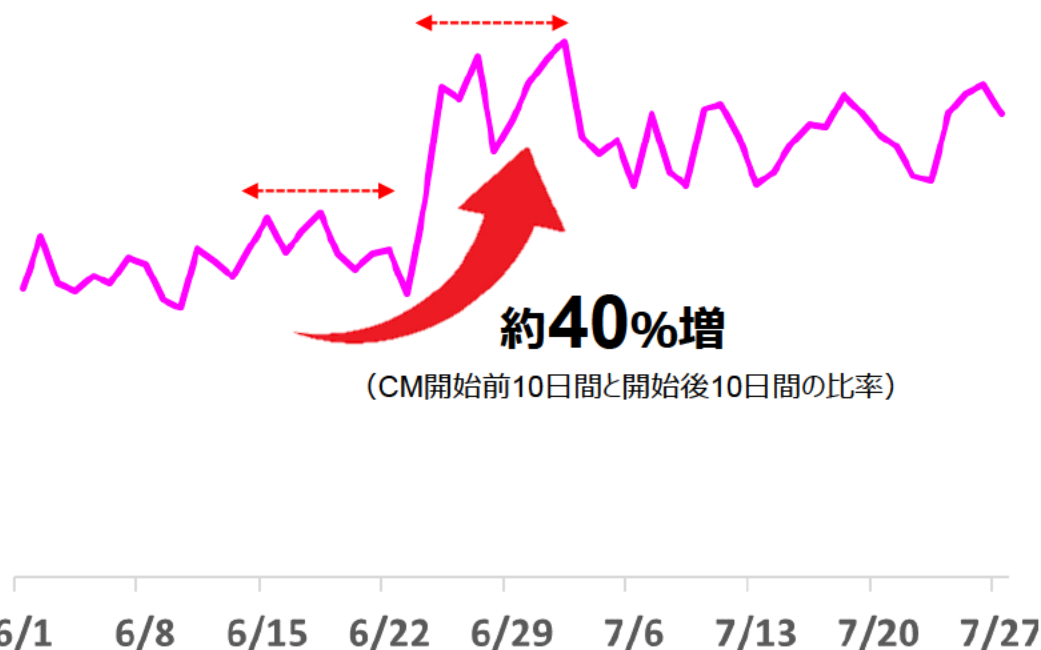
- ・ 認知拡大を目的として、【お酒だけじゃない！カクヤス】をコンセプトに大型キャンペーンを開始。
- ・ 人気お笑いコンビバナナマンのお二人を起用したテレビCM第2弾「お酒だけじゃないカクヤス」篇を放映、さらに屋外・交通広告も掲出。



■渋谷スクランブル交差点大型ビジョン (6/26~7/2)



### カクヤス社ECサイト新規登録者数推移



■東京メトロ構内大型ビジョン (7/10~7/16)



■大阪南海 ガリアアツインビジョン (6/26~7/2)





# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

## TCFD提言への賛同表明



TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に対し賛同したことを表明するとともに、TCFD提言に基づく気候変動への取り組みに関する情報を開示。

■カクヤスグループのサステナビリティ「TCFD提言への対応」  
<https://www.kakuyasu-group.co.jp/sustainability/tcf.html>

### 想定するシナリオの定義

IPCCの「1.5°C特別報告書」において、気温上昇を約1.5°Cに抑えるためには、2030年までに2010年比で世界全体のCO2排出量を約45%削減することが必要という見解が示されたことも踏まえ、当社グループでは、シナリオ分析を実施し、その結果に応じて戦略の見直しを適宜行ってまいります。

シナリオ	①脱炭素シナリオ (1.5°C)	②温暖化進行シナリオ (4°C)
対象年	中期：2030年	長期：2050年
対象事業	当社および当社グループ5社の全事業	

# 1. 2024年3月期 第1四半期 ハイライト

## 樽詰商品小容量化の取組み



### 飲食店向け樽詰商品の小容量化への取組みを開始

- 当社は、持続可能な社会の実現に向けて、サステナビリティへの取組みを強化しております。
- 樽詰商品の小容量化への取組みをすることで、女性や年配の方など多様な人材の活躍の場が増え、さらには、より鮮度の高い状態が保たれ、フードロスの削減にも繋がるものと考えております。

## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要

## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 連結損益計算書

- 増収増益、各段階利益で前期を大幅に上回る。

(単位：百万円)

科目名	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年比		2019/3月期 1Q※	
			増減額	増減率	実績	2024/3期 1Q比
売上高	26,541	<b>31,118</b>	+4,577	+17.2%	27,208	+14.4%
売上総利益	5,525	<b>6,980</b>	+1,455	+26.3%	5,393	+29.4%
	20.8%	22.4%			19.8%	
販売費および 一般管理費	5,711	<b>6,379</b>	+668	+11.7%	4,924	+29.5%
	21.5%	20.5%			18.1%	
営業利益	▲186	<b>601</b>	+787	-	468	+28.3%
	-	1.9%			1.7%	
経常利益	▲186	<b>598</b>	+785	-	479	+24.7%
	-	1.9%			1.8%	
親会社株主に帰属する当 期純利益	▲150	<b>332</b>	+482	-	302	+9.7%
	-	1.1%			1.1%	

## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 連結売上区分（前期比）

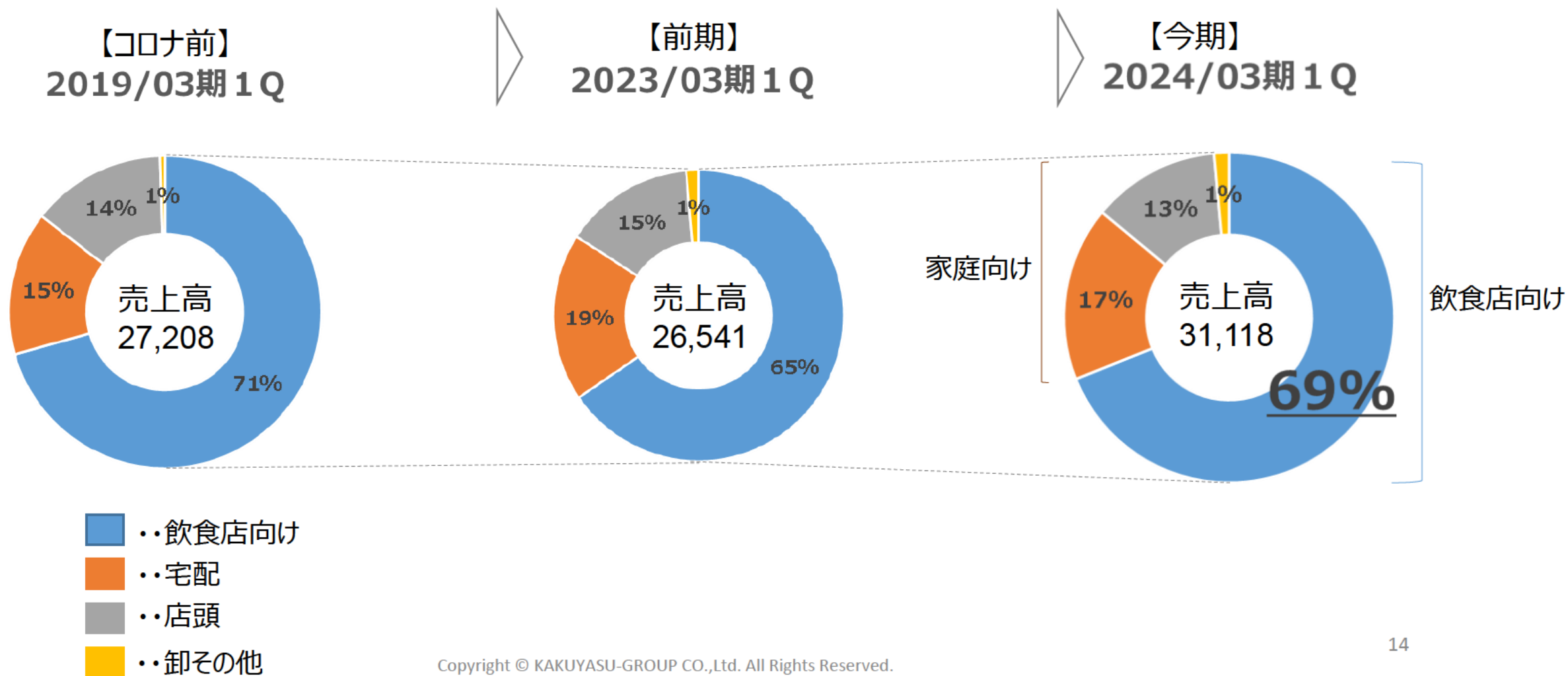
- 主力である飲食店向け販売が引き続き大きく伸長。
- 宅配及び店頭も、前年コロナ禍に伴う反動があるも前年比増で着地。

（単位：百万円）

	2023/3期 1Q	2024/3期 1Q	前年比		2019/3月期 1Q※	
			増減額	増減率	実績	2024/3期 1Q比
飲食店向け	17,375	<b>21,444</b>	+4,069	+23.4%	19,209	+11.6%
宅配	4,951	<b>5,320</b>	368	+7.5%	4,064	+30.9%
店頭	3,849	<b>3,895</b>	46	+1.2%	3,796	+2.6%
家庭向け	8,800	<b>9,216</b>	415	+4.7%	7,861	+17.2%
卸その他	365	<b>457</b>	92	+25.3%	138	+230.6%
合計	26,541	<b>31,118</b>	4,577	+17.2%	27,208	+14.4%

## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 連結売上区分別売上構成比

- 売上区分別での売上構成比は、コロナ前同様の飲食店向け販売が7割近くまで戻る。



## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 販売費および一般管理費

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
<b>人件費</b>	3,369	<b>3,764</b>	<u>+394</u>	+11.7%
給与及び賞与、各種手当	3,275	3,657	+381	+11.7%
採用費	94	107	+12	+13.4%
<b>広告・販促費</b>	103	<b>167</b>	+64	+62.3%
広告宣伝費	44	113	<u>+69</u>	+158.3%
販売促進費	59	53	▲5	▲9.2%
<b>その他費用</b>	2,238	<b>2,447</b>	+209	+9.4%
業務委託費	490	655	<u>+164</u>	+33.6%
配送費	179	213	<u>+34</u>	+19.2%
保守修繕費	106	124	+18	+17.2%
リース料等	140	123	▲17	▲12.5%
水道光熱費	96	97	+1	+1.8%
その他	1,227	1,232	+7	+0.6%
<b>販売費及び一般管理費</b>	5,711	<b>6,379</b>	+668	+11.7%

### ◆販売管理費及び一般管理費の増加要因

＜増加した主なコスト＞  
人件費、配送費用が主要因。

- **人件費 +394百万円**
  - ・前期10月の賃金改定等による増加  
(給与及び手当、賞与、法定福利費)
- **配送費、業務委託料 +198百万円**
  - ・飲食店向け販売の回復による配送費等
- **広告宣伝費 +69百万円**
  - ・テレビCMプロモーションに伴う増加  
(7-9月：約120百万円予定)

## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 営業損益以下の変動

(単位：百万円)

	2023年 3月期 第1四半期	2024年 3月期 第1四半期	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	▲186	<b>601</b>	+787	—
営業外収益	15	<b>18</b>	+2	+17.8%
営業外費用	16	<b>21</b>	+5	+31.8%
<b>経常利益</b>	▲186	<b>598</b>	+785	—
特別利益	—	<b>0</b>	0	—
特別損失	—	<b>31</b>	+31	—
<b>税引前利益</b>	▲186	<b>567</b>	+754	—
法人税等	▲36	<b>234</b>	+271	—
<b>当期純利益</b>	▲150	<b>332</b>	+482	—



## 2. 2024年3月期 第1四半期決算概要 – 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
	2023年 3月末	2023年 6月末	増減額		2023年 3月末	2023年 6月末	増減額
<b>流動資産</b>	19,462	<b>20,305</b>	<u>+842</u>	<b>流動負債</b>	25,810	<b>26,499</b>	<u>+689</u>
現金及び預金	2,727	<b>3,210</b>	+482	買掛金	15,609	<b>15,864</b>	<u>+255</u>
受取手形 及び売掛金	8,884	<b>8,894</b>	<u>+9</u>	短期借入金	7,205	<b>7,438</b>	+233
未収入金	1,356	<b>1,727</b>	<u>+370</u>	賞与引当金	414	<b>635</b>	<u>+221</u>
<b>固定資産</b>	13,623	<b>13,422</b>	<b>▲201</b>	<b>固定負債</b>	4,460	<b>4,217</b>	<b>▲243</b>
有形固定資産	7,511	<b>7,533</b>	+21	長期借入金	3,261	<b>3,009</b>	<b>▲252</b>
土地	3,411	<b>3,411</b>	±0	リース債務	0	<b>0</b>	±0
建物及び構築物	3,841	<b>3,835</b>	<b>▲6</b>	<b>負債合計</b>	30,271	<b>30,717</b>	<b>+445</b>
無形固定資産	1,777	<b>1,719</b>	<b>▲57</b>	資本金	47	<b>49</b>	+2
のれん	1,165	<b>1,125</b>	<b>▲39</b>	資本剰余金	3,555	<b>3,557</b>	+2
ソフトウェア	589	<b>581</b>	<b>▲8</b>	利益剰余金	<b>▲601</b>	<b>▲461</b>	+140
投資その他の資産	4,335	<b>4,169</b>	<b>▲165</b>	自己株式	<b>▲307</b>	<b>▲284</b>	+23
<b>資産合計</b>	33,086	<b>33,727</b>	<b>+640</b>	<b>純資産合計</b>	2,815	<b>3,010</b>	<b>+195</b>
				<b>負債・純資産合計</b>	33,086	<b>33,727</b>	<b>+640</b>

### <主要な増減項目>

【資産】 +640百万円

└流動資産 +842百万円

- ・売上増加に伴い、現預金や未収入金(リベート)が増加

【負債】 +445百万円

└流動負債 +689百万円

- ・売上増加に伴い買掛金、賞与引当金が増加

【純資産】 +195百万円

- ・売上増加に伴い利益剰余金が増加
- ・自己資本比率8.9% (前期末8.5%)
- ・自己株式284百万円は株式給付信託(ESOP)による

※主要項目のみを抜粋記載しているので、縦罫は合いません。

### 3. 売上区分別概要

※ カクヤスグループの中核会社である「株式会社カクヤス」を中心にご説明させていただきます。

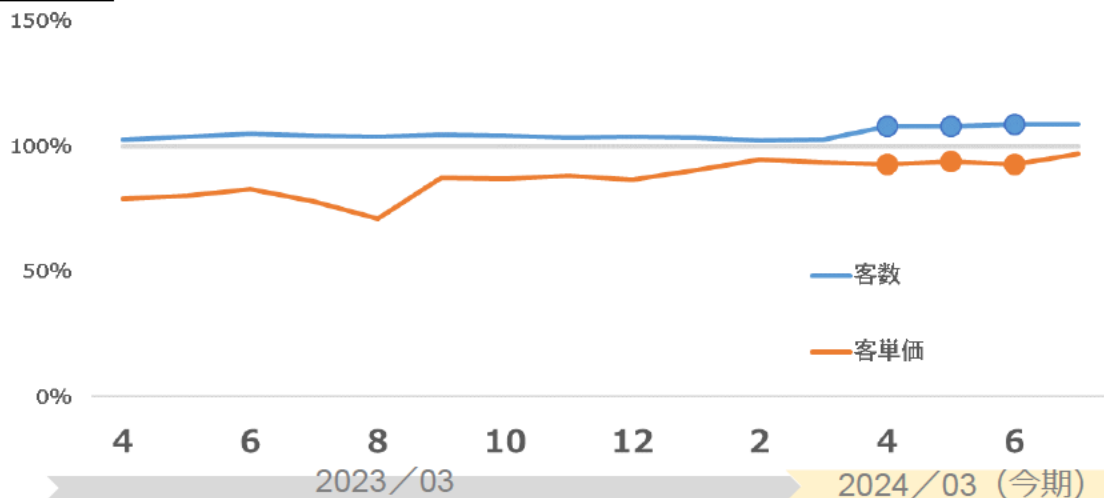
### 3. 売上区分別概要

#### 飲食店向け

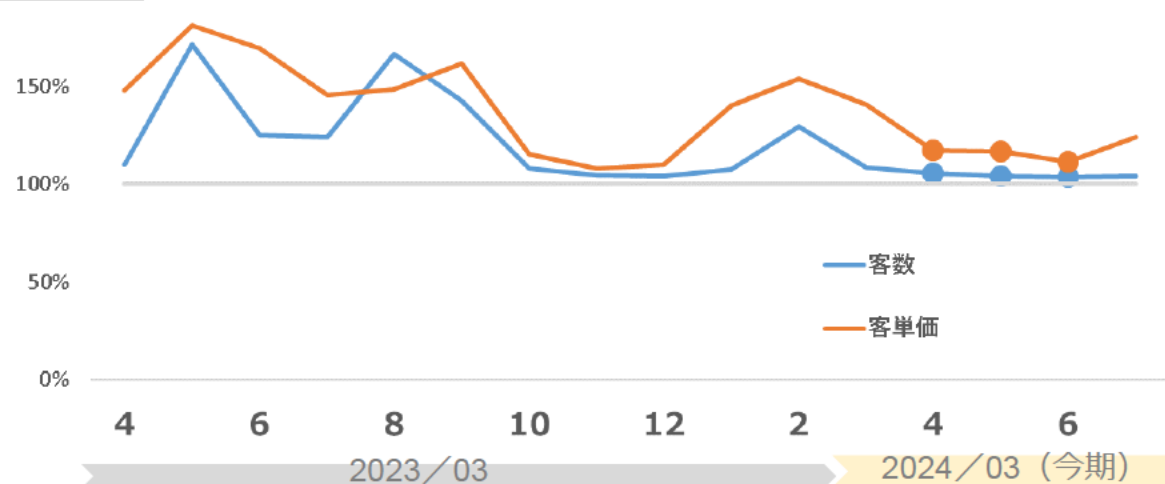
##### ◆ 客数・単価推移 | カクヤス社

- 客数は、個人飲食店を中心に新規獲得が進み、引き続き好調に推移。客単価も、チェーン飲食店の売上伸長とともに回復基調。

図表1 | コロナ前比



図表2 | 前年比



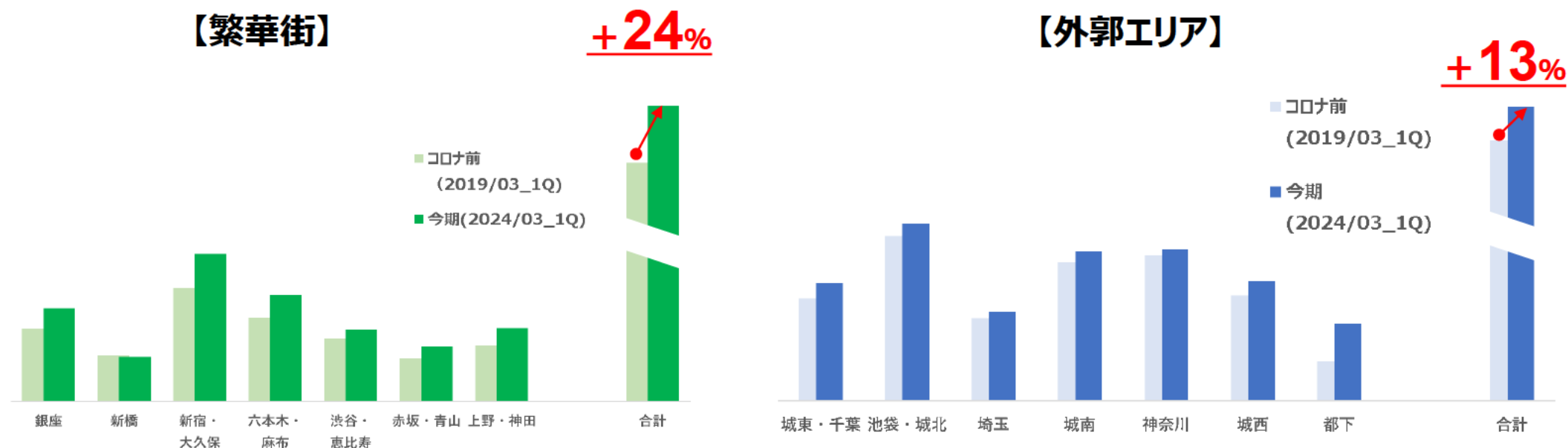
### 3. 売上区分別概要 – 飲食店向け

## 飲食店向け

#### ◆ 各地域・業態ごとのマーケットの状況（個人飲食店） | カクヤス社

- 個人飲食店を中心としたマーケットの売上は、ほぼ全てのエリアでコロナ前を上回る。

### 個人飲食店

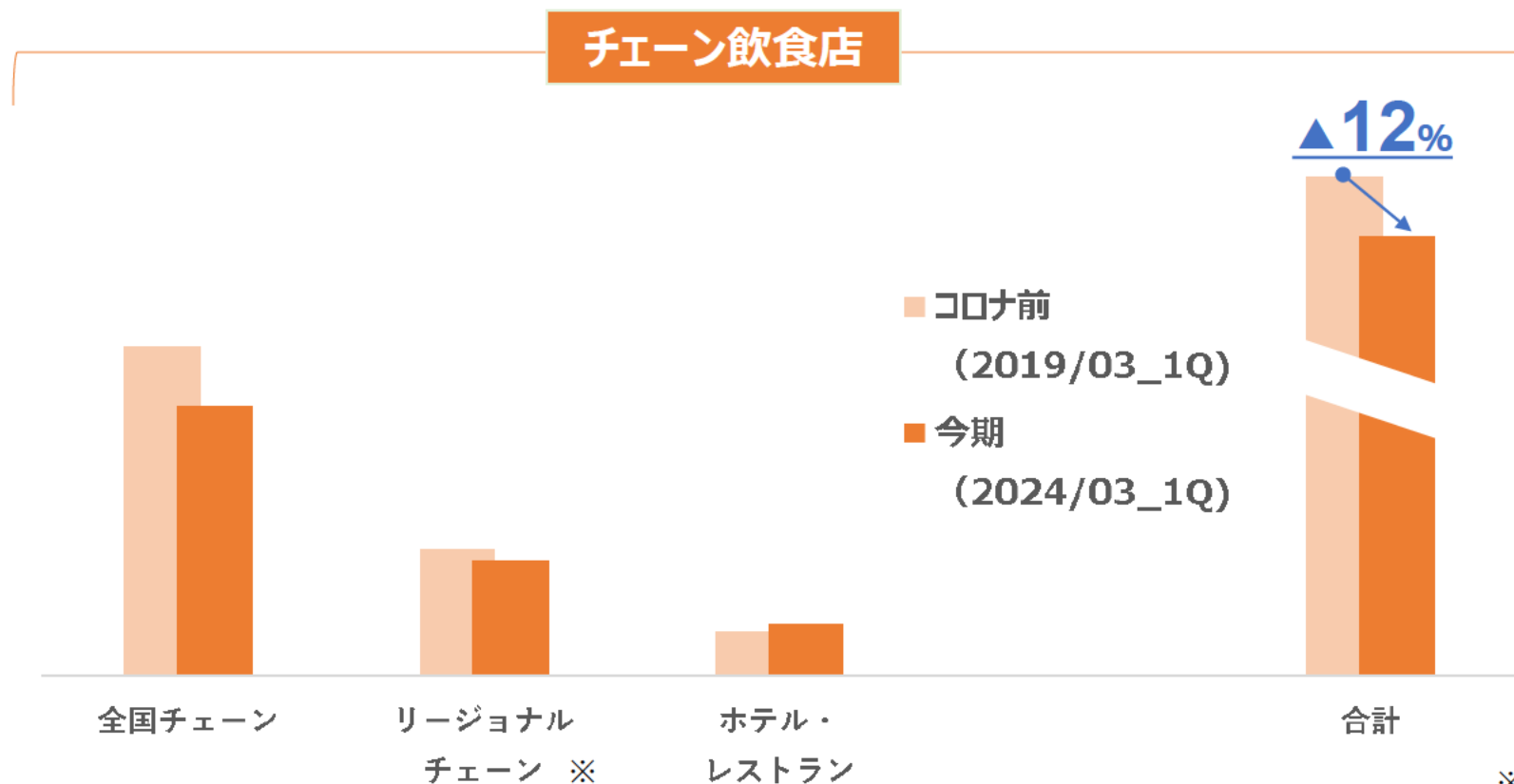


### 3. 売上区分別概要 – 飲食店向け

## 飲食店向け

#### ◆ 各地域・業態ごとのマーケットの状況（チェーン飲食店） | カクヤス社

- ・ チェーン飲食店の回復は未だコロナ前には至らず。



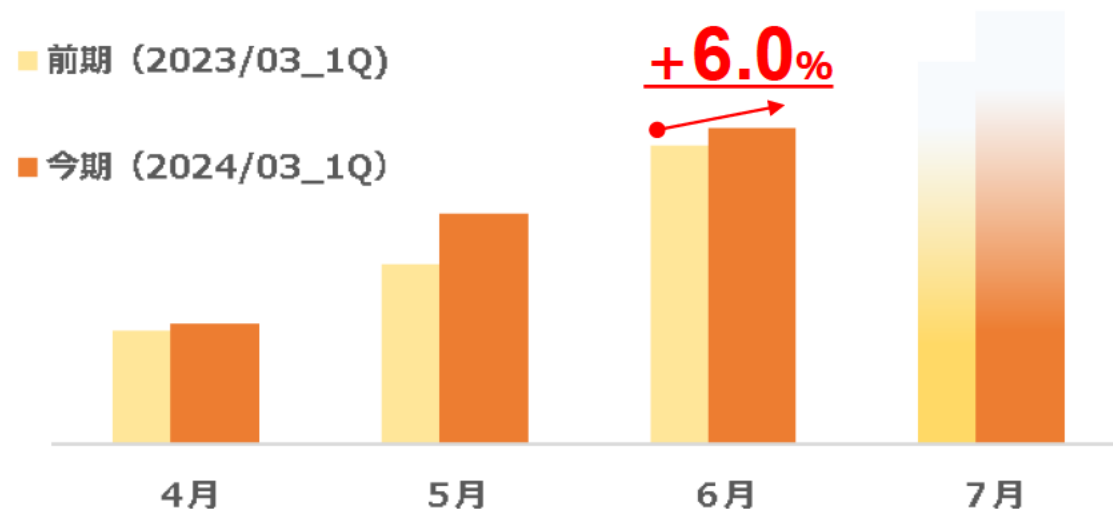
### 3. 売上区分別概要 – 飲食店向け

#### 飲食店向け

##### ◆ 新規取引顧客の増加

- 新規の取引先は、個人飲食店を中心に順調に獲得が進む。

飲食店 新規取引累計軒数の推移（前期比）



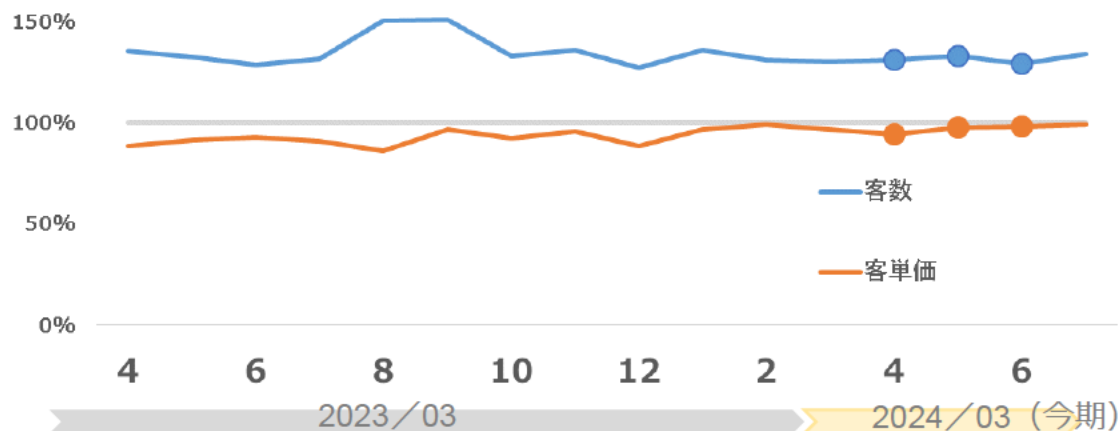
### 3. 売上区分別概要 – 家庭向け（宅配・店頭）

## 家庭向け

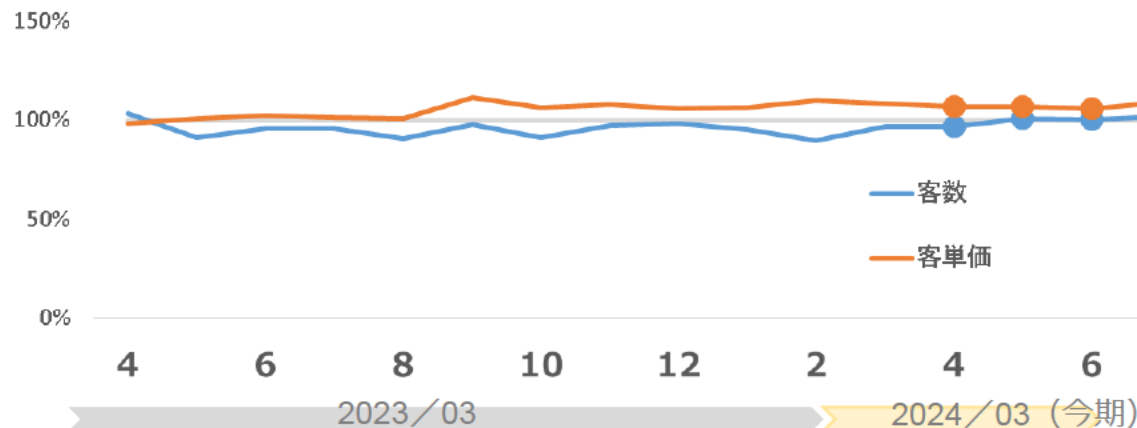
#### ◆ 【宅配】 客数・単価推移

- 客数は、コロナ前までの水準を引き続き、大きく上回る。
- 客単価は、行楽や法人などの歓送迎会、また納会など大人数での催しなど、お届け需要の回復により上昇。

図表1 | コロナ前比



図表2 | 前年比



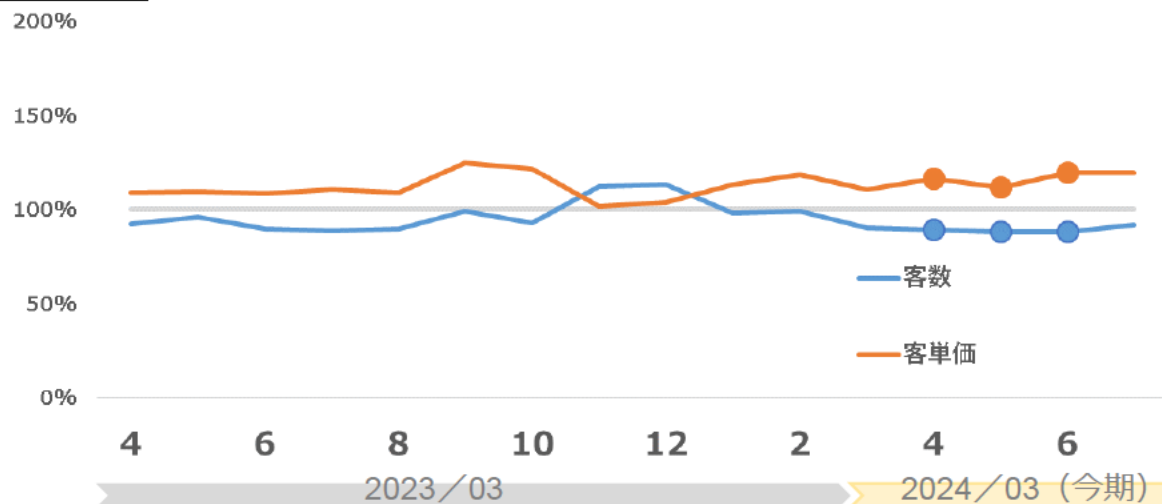
### 3. 売上区分別概要 – 家庭向け（宅配・店頭）

## 家庭向け

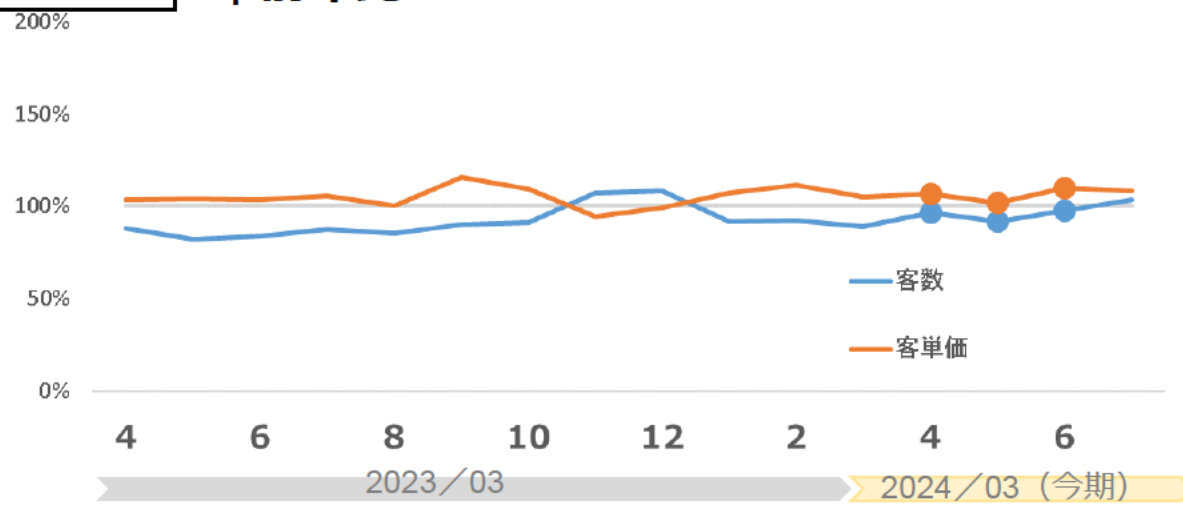
#### ◆ 【店頭】 客数・単価推移

- 客数は、エリア再編による店舗拠点の見直し等の影響もあり減少。
- 客単価は、宅配同様に行楽や団体での需要増、また各地方自治体で行われるポイント還元キャンペーン等への参加により、まとめ買いの傾向がみられ上昇。

図表1 | コロナ前比



図表2 | 前年比





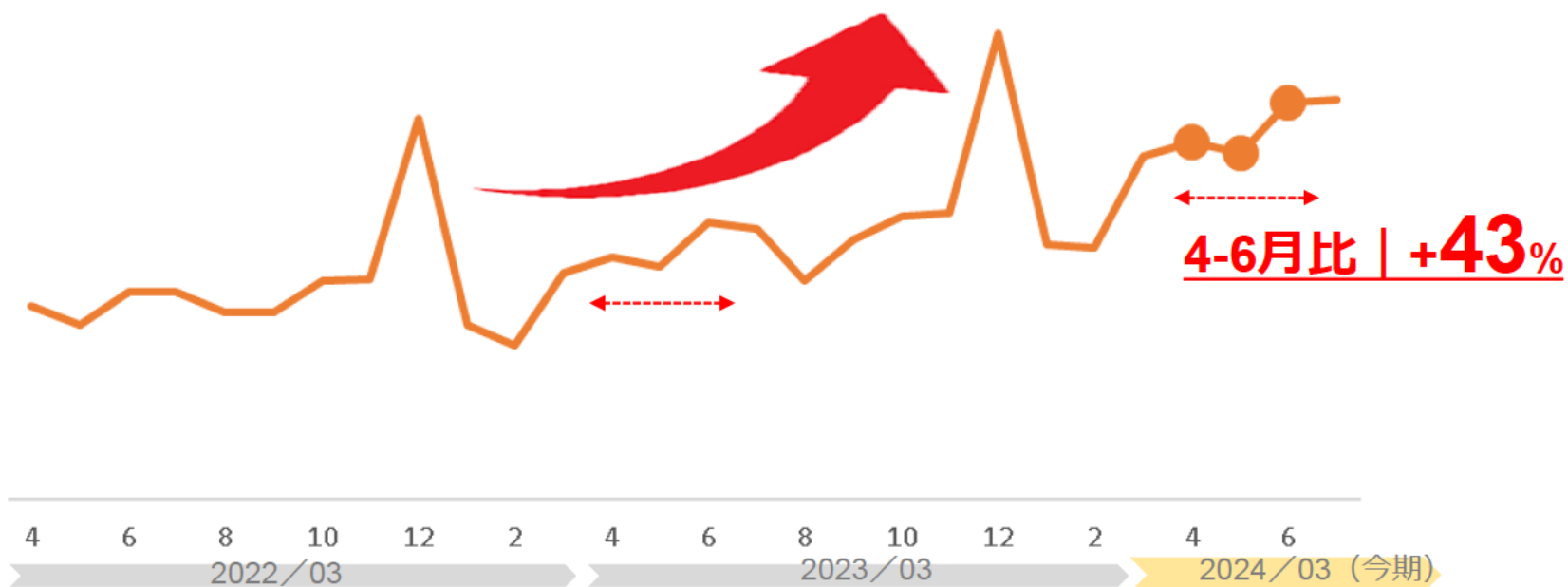
### 3. 売上区分別概要 – 家庭向け（宅配・店頭）

#### 家庭向け

##### ◆ 法人へのお届け需要が増加

- ・ コロナが収束していく中で、段階的に法人需要の回復傾向がみられる
- ・ 4月の歓送迎会や、四半期毎での納会等などで、注文数・単価が大幅増加。

株式会社カクヤス ECサイトにおける法人顧客の売上推移



## 4. 今後の取り組み

※ カクヤスグループの中核会社である「株式会社カクヤス」を中心にご説明させていただきます。

## 4. 今後の取り組み

- 弊社は「今後の取り組み」として、「2023年3月期 決算補足説明資料」にて、以下の方針を打ち出しております。  
(2023年5月15日弊社IRサイト掲載)

**【飲食店向け】 競争力の高い個人飲食店を中心に開拓し、収益を増大**

**“首都圏全包囲”で、個人店を中心とした飲食店を取り込んでいく**

**【家庭向け】 伸びしろのある家庭向け販売も継続して強化し、成長・収益化を促進**

**“宅配”を中心とした販売ボリュームのアップと効率化により収益性を高めていく**

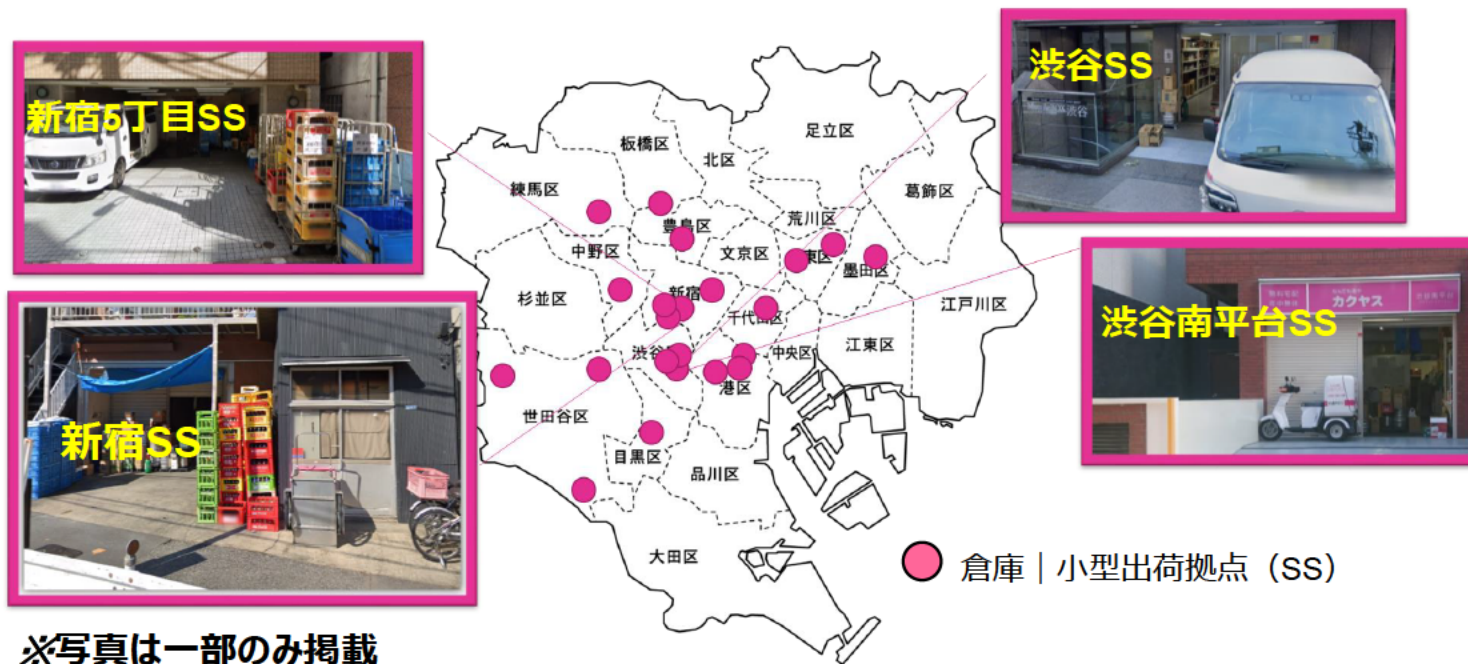
## 4. 今後の取り組み

### 飲食店向け

#### ◆ 飲食店向け小型出荷倉庫（出荷拠点）の拡大

- 個人飲食店との取引増加に伴い、小型出荷倉庫（サテライトステーション）の出店を加速。
- 6月末時点で25拠点となり、さらに今期中に7拠点の出店を予定。

#### 23区における小型出荷倉庫のMAP



## 4. 今後の取り組み

### 家庭向け

#### ◆ 法人ニーズ拡大への対応

- 法人ユーザーへの「掛け払い」対応サービス開始予定（11月～）。
- 法人ユーザーからは、「請求書発行できないの？」の問合せを多数いただいております、今回の施策の導入決定。

#### ☑ 研修・会議のお茶 ☑ 懇親会 ☑ 歓迎会・送迎会



少量OK！冷やしたビール、お茶もお届けします。



セミナーや会議の休場、打ち上げや懇親会に使うお茶など、数量を気にせず注文。



おつまみ・総皿・瓶コップまもちゃん、ワインや日本酒もあるから、おつまみも楽しんで。



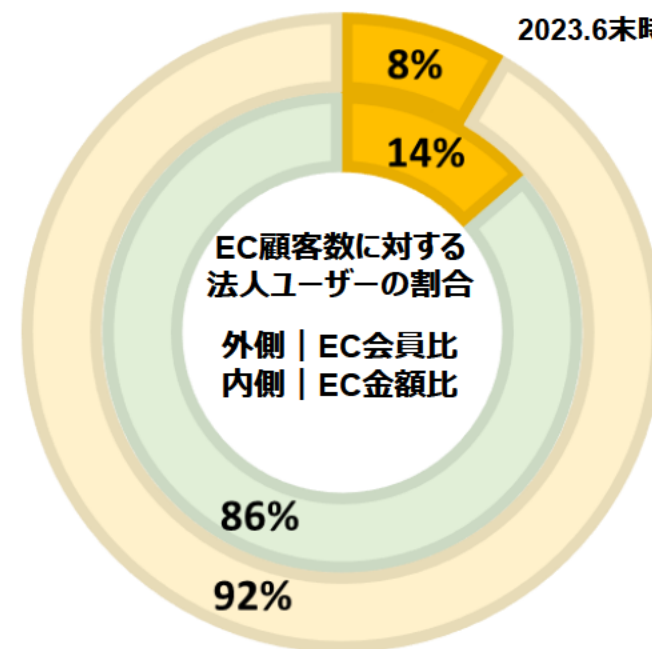
ビールやお酒のギフトを、季節のご挨拶に。



オフィスでの個人利用、2Lペットボトル飲料を同僚とまよめたい。

#### カクヤス社における「法人ユーザー」構成

2023.6末時点



## 4. 今後の取り組み

### 家庭向け

#### ◆ プライベートブランドの積極拡大

- カクヤス社プライベートブランドにおいては、酒類専門店ならではの品質・低価格かつ、高付加価値なオリジナル商品を順次導入し、顧客を引き付ける商品開発を積極的に進める。



#### PB商品開発案件進捗

- ①清酒パック（2L・3L）  
・10月発売予定
- ②焼酎（乙類麦焼酎2.7Lパック）  
・10月発売予定

そのほか、  
ウイスキー、RTDなど順次



## 4. 今後の取り組み

### その他

- 従業員満足度の向上及び定着と優秀な人財の獲得を目的として、前年のベースアップに引き続き、2023年10月よりさらに大幅なベースアップを実施。
- 賃金ベースアップに伴うコスト増は、今後の粗利率向上でカバーを見込む。

#### **賃金ベースアップを含む人事制度改定**

##### (1) 賃金制度の見直し

2023年10月より当社グループ3社の従業員を対象に、平均で月額7%のベースアップを実施。

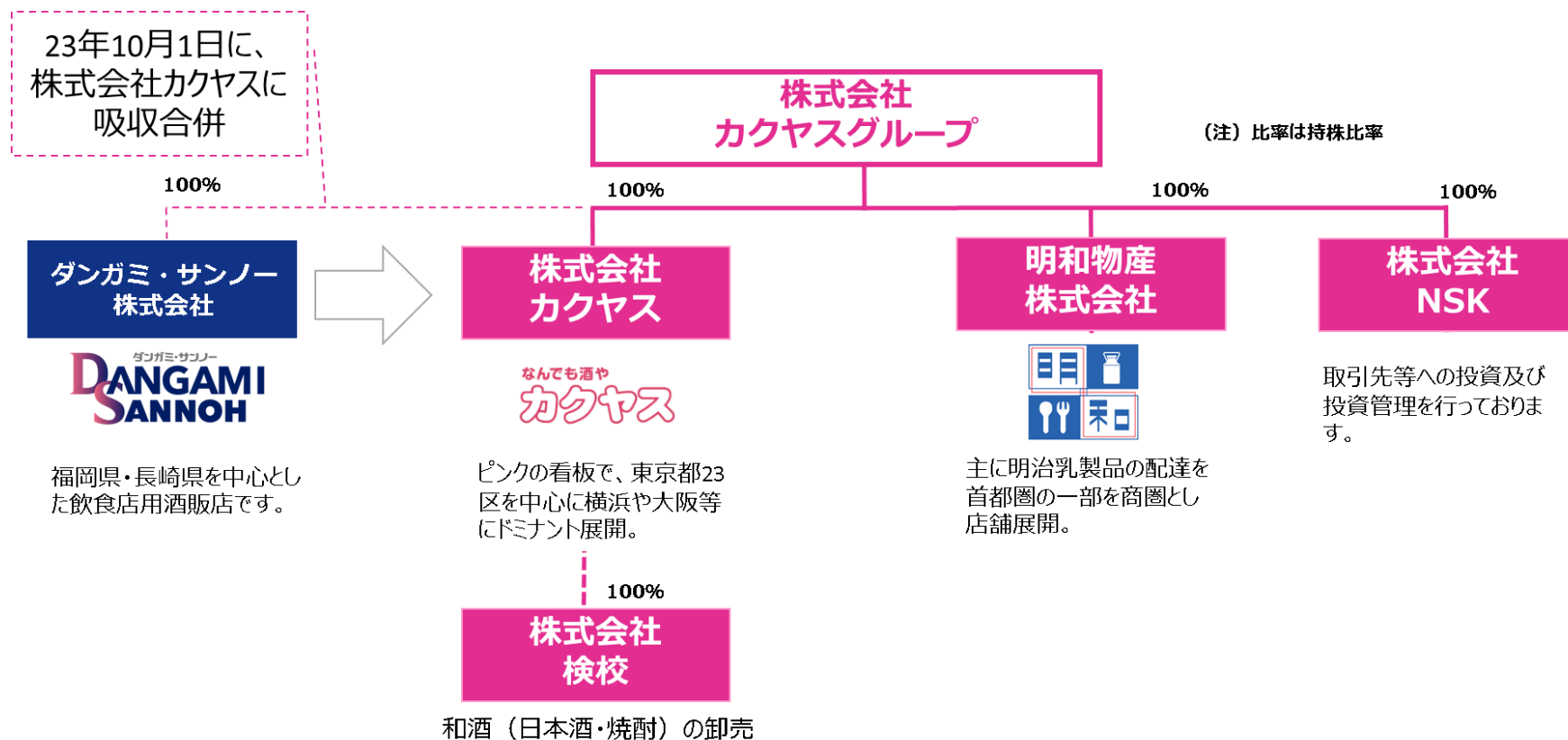
##### (2) 人事評価制度の見直し

若手～中堅層のモチベーション維持や成長実感を高めるため、2023年10月1日より等級・賃金・評価制度の見直し。

## 4. 今後の取り組み

### その他

- 当社グループ内組織再編の一環として、連結子会社間の経営資源の集中と組織運営の強化を通じて収益向上を図ること等を目的として、連結子会社間の吸収合併を決定。





## 5. 2024年3月期 通期業績予想と配当予想の修正について

## 5. 通期業績予想と配当予想の修正について

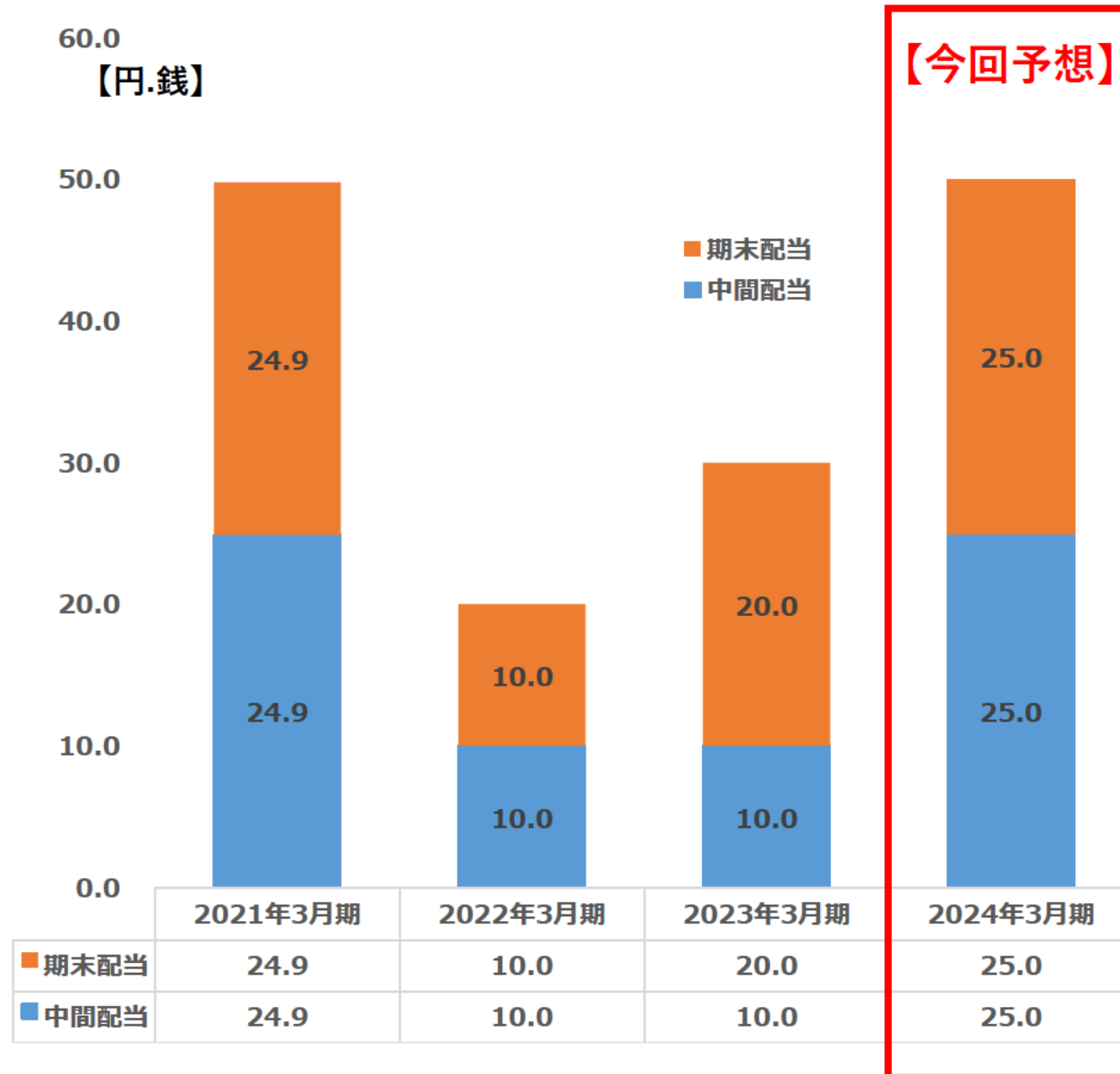
### 連結売上区分

(単位：百万円)

### 参考) 売上比率

	2023年 3月期 (前期)	<b>2024年 3月期 (08.14修正)</b>	増減額	増減率	2023年 3月期	2024年 3月期 (08.14修正)
飲食店向け	76,489	<b>89,475</b>	12,985	+17.0%	66.5%	68.5%
宅配	20,376	<b>22,919</b>	2,542	+12.5%	17.7%	17.5%
店頭	16,327	<b>16,562</b>	234	+1.4%	14.2%	12.7%
家庭向け	36,704	<b>39,481</b>	2,776	+7.6%	31.9%	30.2%
卸その他	1,766	<b>1,643</b>	▲123	▲7.0%	1.6%	1.3%
<b>売上高 (合計)</b>	114,960	<b>130,600</b>	15,639	+13.6%	100.0%	100.0%
営業利益	803	<b>3,000</b>	2,196	+273.4%	0.7%	2.3%
経常利益	800	<b>2,900</b>	2,099	+262.3%	0.7%	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	<b>1,700</b>	1,090	+178.8%	0.5%	1.3%

## 5. 通期業績予想と配当予想の修正について



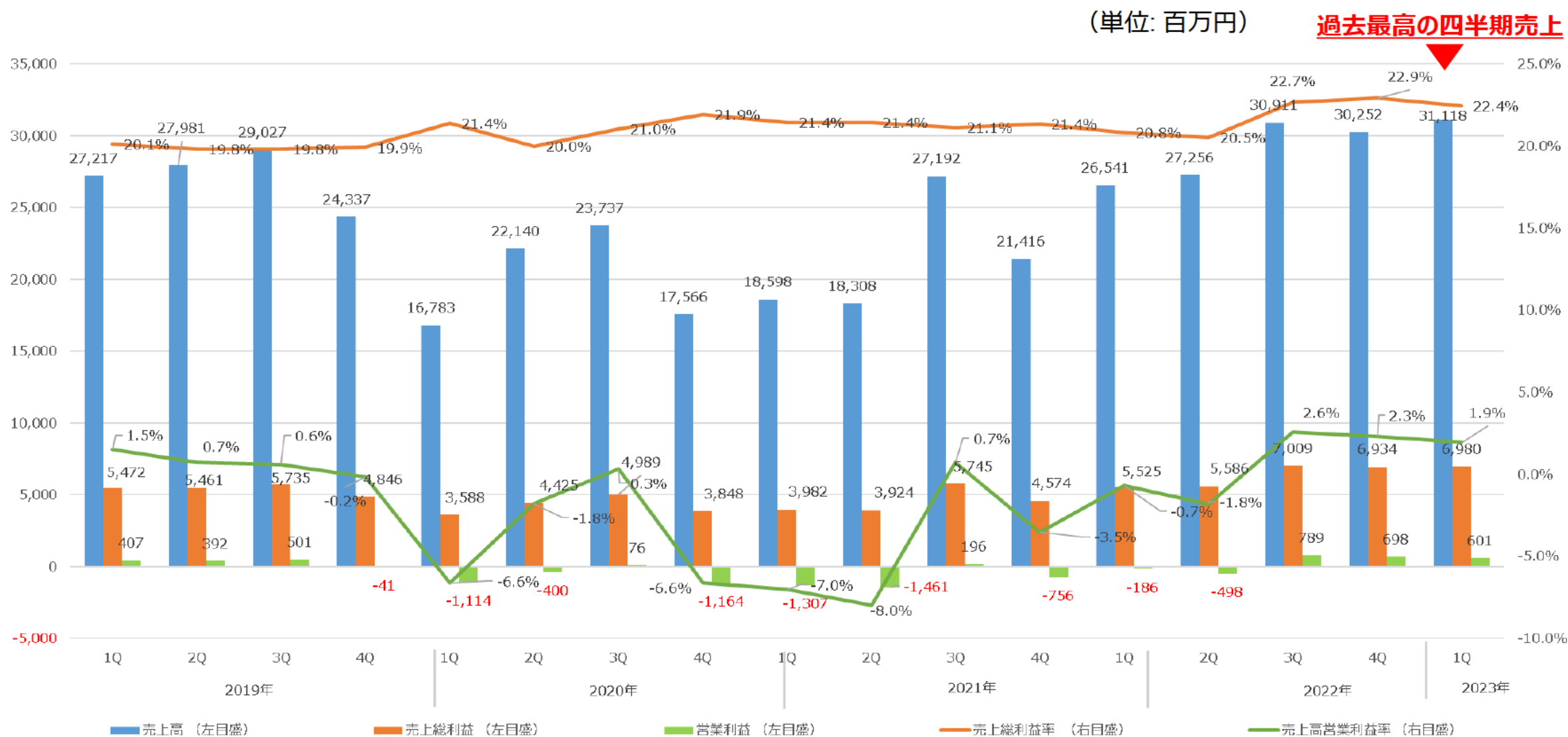
2024年3月期配当予想を未定としておりましたが、当社の配当方針と、今回の修正業績予想を勘案し、中間配当及び期末配当の予想をそれぞれ1株当たり25.0円、年間配当を50.0円とすることと致しました。

今後も継続的かつ安定的な配当につとめてまいります。

# APPENDIX



# 四半期毎売上高、売上総利益、営業損益の推移



# ■ 拠点数

## (カクヤスグループ 拠点一覧)



	2023.03期	2024.03期			
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
<b>(1) 飲食店向け拠点</b>					
<b>(株) カクヤス</b>					
配送センター	9	9			
店舗 (kakuyasu class)	5	5			
小型倉庫	25	25			
合計	39	39	0	0	0
<b>ダンガミ・サンノー (株)</b>					
配送センター	2	2			
店舗 (酒のガリバー 等)	5	4			
小型倉庫	1	2			
合計	8	8	0	0	0
<b>(2) 家庭向け拠点</b>					
<b>(株) カクヤス</b>					
WEBセンター・社内物流センター (平和島)	2	2			
店舗1. (なんでも酒やカクヤス)	159	158			
店舗2. (KAKUYASU SELECT)	2	2			
店舗3. (CORK)	1	1			
小型倉庫	19	19			
合計	183	182	0	0	0
<b>ダンガミ・サンノー (株)</b>					
店舗1. (なんでも酒やカクヤス)	5	5			
合計	5	5	0	0	0
<b>(3) その他の拠点</b>					
<b>明和物産 (株)</b>					
小型倉庫	8	8			

※1 ダンガミ・サンノー (株) の店舗につきましては、店舗から小型倉庫への業態変更をしております。

※2 (株) カクヤスの店舗につきましては、23年5月に1店舗閉店しております。



## 注意事項

本資料は当社についての情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。

資料の内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変化することも考えられます。

従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社カクヤスグループ  
グループ経営戦略部

[ir@kakuyasu-group.co.jp](mailto:ir@kakuyasu-group.co.jp)

<https://www.kakuyasu-group.co.jp/>